



須賀川市

# シルバーだより

平成30年8月  
第66号



## 会員としての心得

- 1 「安全はすべてに優先する」を心得て作業にあたる。
- 2 センターの会員として仕事の開拓、確保に努める。
- 3 「顧客第一」引き受けた仕事は責任を持って誠実に成し遂げる。
- 4 契約外の仕事を依頼されたら速やかに事務所へ連絡する。
- 5 自分の健康管理に心がけて無理な健康状態で就業しない。
- 6 仕事で知りえた情報を他にもらさない。
- 7 「社会に貢献」センターの働きを通して地域に貢献する。





### 高齢化時代を見据えた 事業運営と活動

理事長 遠藤和司

シルバー人材センターを取り巻く社会環境は今後さらに進展する高齢化時代に対して、働きたいと願う高齢者に就業の場を拡大することが重要であり、当シルバー人材センターに向けられる期待は一層大きなものになっています。

さらにこうした中、労働派遣、職業紹介での働き方の要件が緩和される一方、適正就業ガイドラインを遵守した就業が求められています。さらに、地域社会の維持発展と急増する高齢者の受け皿としての役割を果たすことも求められています。

このような状況の中で、当シルバー人材センターにおいては会員自らが地域におけるシルバー人材センターの役割を認識し「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもとに、創意と工夫をもって自主的かつ主体的活動を行い、各種事業を積極的に推進してまいります。特に会員増強をはじめ会員の就業機会の拡大確保を図るため広報媒体等による普及活動をはじめ、役員推進員等による一般企業等への訪問活動を行い就

業機会の拡大確保に取り組んでまいります。

平成三十年度から三年間、須賀川市から指定管理者の指定を受け、須賀川駅前自転車駐車場をはじめ、須賀川市老人福祉センター等温泉三施設の指定管理者として施設の維持管理を行なうこととなりました。これにより、今後も会員が就業することとなり、当シルバー人材センターにおいては「ワークシェアリング」と「ローテーション」就業により施設の管理運営を行ってまいります。

また、従来から取り組んでおります手工芸品の展示販売をはじめ、彼岸花等の製作販売などの独自事業を継続して実施してまいります。

平成三十年度も事業計画と重点事項に基づく事業運営と活動を推進し、地域社会の要請に対応できる体制を構築しつつ地域社会の「支え手」として貢献できるシルバー人材センターを目指してまいります。

最後に会員皆様には健康に充分留意され当センターの発展に寄与されますようお願い致します。

### 平成三十年度 定時総会が開催される

平成三十年五月三十日(水)午後一時三十分須賀川市民温泉大会議室において一四八名が出席し、開催されました。始めに会員表彰が行われ、次にご来賓の橋本克也須賀川市長はじめ多くの来賓の方々からご祝辞をいただきました。その後議事に入り昨年度の実績報告と今年度活動方針及び理事・監事選考委員会の委員の選出などが提案され質疑応答の結果、賛成多数で可決されました。



理事長あいさつ

### ご来賓の紹介

定時総会にご臨席を頂きました来賓の皆様にはご多用のところありがとうございます。また、須賀川市長を始め多くの皆様に祝辞と激励の言葉を賜り、感謝申し上げます。

- 須賀川市長 橋本克也様
- 須賀川市議会議長 佐藤瞭二様
- 福島県議会議員 宗方 保様
- 社会福祉法人 須賀川市社会福祉協議会会長 溝井正男様
- 須賀川商工会議所専務理事 飛木孝久様
- 須賀川市老人クラブ連合会会長 金子定雄様
- 須賀川市産業部産業部長 石堂伸二様



市長あいさつ

## 表彰と 受賞者のことば

定時総会において永年会員として貢献された方々が表彰されました。その方々は次のとおりです。

- |       |       |
|-------|-------|
| 柳沼ハルイ | 小橋 萬代 |
| 関根美喜男 | 深谷フミ子 |
| 山寺千枝  | 薄井信一  |
| 木田一芳  | 谷岡喜代子 |
| 天童トキ子 | 西横 絹枝 |
| 関根 司  | 伊藤 征恵 |
| 真野目光圀 | 藤田 義信 |
| 佐藤 良子 | 内藤 文男 |
| 鈴木 春子 | 佐藤 康子 |
| 有馬 勲  | 磐瀬 倫雄 |

- 受賞者の方から日頃の仕事で気遣っている次項について投稿して頂きました。
- 一、仕事への取り組み方
  - 二、安全就業への取り組み方
  - 三、顧客への接遇について
  - 四、余暇(趣味)の過ごし方



藤田 義信

- 一、自分から積極的にするよう心がけている。
- 二、会員の皆さんと交流を深め、声を掛け合いながら作業している。
- 三、自分で見たり、触れたりして確認してお客様に満足して貰えるよう心掛け。
- 四、趣味(謡え)



伊藤 征恵

- 一、共同作業なので皆さんと心を一つにしてやっている。
- 二、同僚や周囲に目配りして安全を意識して作業している。
- 三、丁寧な仕事を心掛けて、お客様が笑顔で満足し又頼むよと言ってもらえるように。
- 四、趣味(魚釣り、旅行)と実益を兼ねながら。



天童トキ子

- 一、お客様や同僚に迷惑を掛けないように。



関根 司

- 一、翌日の仕事の事を考えて、休養して体調を整える。
- 二、無回答
- 三、体力に合わせてウォーキング
- 四、定められた人数で予定通りの仕事をするよう仕事優先。野外作業なので熱中症、蜂刺されに注意。
- 三、お客様と良く話し合い、理解した上で作業に入り、苦情のない様に心掛け。
- 四、趣味(映画鑑賞、中でも中国映画)



会員表彰

### 採択された主な事業内容

#### 平成30年度事業目標

| 項目     | 目標値       |
|--------|-----------|
| 会員数    | 550人      |
| 受託件数   | 4,000件    |
| 就業延日人員 | 55,000日人  |
| 契約金額   | 238,886千円 |

### 平成30年度役員紹介

- |           |       |    |         |
|-----------|-------|----|---------|
| 理事長       | 遠藤 和司 | 理事 | 幸洋子     |
| 筆頭副理事長    | 佐久間 尊 | 理事 | 澤邦栄     |
| 副理事長      | 加藤 恵子 | 理事 | 関根 三村   |
| 常務理事兼事務局長 | 橋本 正志 | 理事 | 柳 沼 友夫  |
| 理事        | 飯野 進  | 理事 | 柳 沼 ひろみ |
| 理事        | 佐藤 吉二 | 理事 | 石堂 伸二   |
| 理事        | 中山 紀男 | 理事 | 石堂 邦夫   |
|           |       | 監事 | 成瀬 正山   |





### 安全適正就業ガイドラインを遵守し 損害事故防止を目指して

安全管理委員長 関根 邦洋

盛夏の折、会員の皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。平成年号も最終の年度となり、昭和族生まれの私達人生には歴史の移り変わりに戸惑いを禁じ得ません。

さて、去る三月に第二回安全適正就業推進大会を催したところ多くの会員の参加を得ました盛大に開催することができましたこと心から感謝申し上げます。橋本克也須賀川市長の講話からも当センターに寄せる期待度が推し量ることができました。そしてこの安全大会を機に当センターの発展を誓うことは意義あることと大変嬉しく思う次第であり、今後も継続して開催したいと考えております。

しかし、昨年度は重大な損害事故を二件発生してしまいました。一件はモア機による草刈時の飛び石の物損事故、もう一件は一般家庭の襖張替え作業による戸の建て付け不良事故です。先の飛び石は高級自動車の窓ガラスの破損で修理代は勿論、代車の費用負担増となりました。モア機は保険の付帯事項になって

おらず、モア機は一般自動車の保険対象となるために免責扱いになってしまいました。熟練作業者でしたが地形の複雑も伴い未然防止に困難さも加わりました。

次に、建て付け事故は襖張替え作業をする時に戸の開閉が良くないことを発見したのですが、発注者と良く話し合わずに、襖の縦枠の突起部分を切ってしまったために戸の収まりに甘さができ戸が外れるようになった物損事故でした。

このような物損事故のために精査対象案件として当事者にセンターに来て貰い聴取しました。その後後先に立たずの結論になりました。

物損事故等の防止を図るため「会員就業規程の一部改正」を総会に提出し可決承認されました。

しかし、罰則規定の目的は罰則することなく会員が事故を未然に防止することです。センターの基本である「自主・自立」、即ち自営業者と同じ考えなのです。従って、我々は請け負った仕事に責任を持って安全に完遂するように邁進せねばなりません。

### 第二回 安全・適正就業推進大会開催

表彰を受けて  
中山紀男



本大会は平成三十年三月十八日(日)午前十時から市民温泉大会議室にて出席者一六一名の下で開催されました。須賀川市シルバー人材センターの安全・適正就業推進大会は昨年に続き二回目の開催となりました。

今大会には福島県SC連合会専務理事兼事務局長佐藤様を始め郡山市、田村市、本宮市SCからもご臨席を賜りました。議事に入りこれまで最も功績のあった会員に功労賞が授与されました。その後、関根安全管理委員長の「会員の就労意欲」と「安全と信頼」の講話を会員の皆さんで傾聴し、その後、全員で「安全の誓い」を唱和しました。



川市長に「選ばれる町へ」ともに歩む自治都市すかがわ」についてお話をいただきました。会場を埋め尽くした会員及び一般市民が傾聴されました。



このたび平成三十年度安全・適正就業推進大会において優良会員として表彰を賜わり、大変光栄に存じております。私は平成十三年に長沼シルバー人材センターに入会し、その後市町村合併により須賀川市シルバー人材センターの会員になりました。会員として、理事として務めさせて頂いております。これもひとえにセンターの皆様の支えの賜物で心より感謝申し上げます。

### 「この人・仕事」 紹介



会員  
佐々木輝夫

会報六十六号から当会員で日々、仕事に奮闘している人を紹介するコーナーを設けて仕事の苦労ばなし等を交えて会員の皆様に「センターの人、仕事」を広く知っていただくことを企画しました。

今回、紹介する人は剪定仕事に深い経験を持ち、長く貢献している佐々木輝夫さんです。

シルバー人材センターの仕事の中でこの剪定作業は技能経験を有する職種で危険を伴う作業に属します。そんな仕事をしている佐々木さんに色々な仕事の紹介をしていただきました。

その前に佐々木さんを紹介いたしますと、会員歴は十年、今年で七十七歳の辰年です。現在須賀川市保土原の自宅に娘さんと二人で暮らしています。当センター入会前は近隣の某材木店で営業部長として企業を支えた経

験の持ち主です。退職後は色々な職種を経験したい為に自宅から近い当センターに入会されたようです。職種は木を扱う経験を活かして剪定作業を選び、その後「庭園管理士」資格を取得して技能向上を図られました。

さて、そんな佐々木さんの仕事ですが、庭木剪定で最も気を使うことは発注者の意向に沿って満足させる景観に仕上げることです。しかし、剪定には基本もあります。そんな時に持ち主に納得して頂くためにお客様の意見も尊重しながらきめ細やかな打合せをして、納得を頂いてから作業に入るようにしているようです。

このように心掛けて出来上がった景観にお客様から「まあ！良く出来上がりましたね」と喜ぶ笑顔を見ると嬉しくなる時だそうです。特に松の木は剪定には気遣うようです。佐々木さん曰く「私の仕事はやり直しが利かないこと、そして「再生」という妥協は許されない仕事」なので常に真剣勝負で鉄を入れるようです。その上、作業現場は梯子を使い高いところでの仕事なので雨あがりや強風の日など危険千万ですから身の安全に最も注意を払って

おられるようです。佐々木さん



は安全管理委員でもありこの経験を活かして御活躍されています。今回、佐々木さんの剪定作業を紹介しましたが「木を切る」という作業は「身を切る」思いで一枝一枝を慎重に剪定するその姿が思い浮かべられるように感じました。また、お客様と直接に接しますので接遇の心得も重要であることを知りました。このような苦労の積み重ねが当センターの剪定職種を拡大し、ひいては当センター全体の発展に寄与していることにご苦労様とお言葉掛けてあげたくありません。

### 作業風景

会員のみなさんが働いている作業風景を紹介します。





# 趣味の紹介

会員の方々に色々な趣味を持つている会員を紹介します。



「趣味は最高の良薬！」  
円谷喜代子

音楽が好き、子供が好きで選んだ教師への道。夢をかなえて四十余年、独学のピアノが合唱コンクールで活躍した。寝る間も惜しんで練習に励んだあの頃がなつかしい。

私の趣味は広いが、中味は狭い。書道、生け花、茶の湯、囲碁、俳句、手芸など……。

退職後は、当シルバー人材センターの役員となり、多くの友達との出会いが励みとなった。外で働けなくなった人達の退会の声を耳にし、各自の持ち味を活かして出来る就業の場「手作り趣味の会」を立ち上げ、今年で二十二年、現在会員二十名。活動



日を楽しみに集う会員の笑顔がうれしい。  
「趣味は最高の良薬」生ある限りがんばりたい。



「レッツゴー」  
グラウンドゴルフ  
成瀬邦夫

グラウンドゴルフを始めて四年目、会員の皆さんと毎週一回スポーツ広場でプレーしています。ルールは簡単、年齢、性別、体力、運動能力に全く関係なく、又、技量二〇%、体調一〇%、運が七〇%と自分にピッタリのスポーツです。

グラウンドの状況を見て、ホールインワンの期待をこめ、ホールポストへ一打をうちます。やったあー、残念と大きな声を出しながら、心地好い汗をながし、八ホールの最小打数で競います。モグモグタイムもあり、二ゲーム約一時間半位楽しい一時をすごしています。



「ついに八〇歳にリーチ」  
斉藤哲男

シルバー会員となって早くも十五年、管理の仕事約十三年、最近ピンチヒッターで時々仕事をさせてもらっている程度、もっぱら互助会のグラウンドゴルフ愛好会に参加し週一回程楽しんでいきます。仲間がどんどん増え、約二十名となりルールとマナーを覚え、技術を磨き市民体育祭への参加を目指して頑張っています。又、月二回のカラオケ愛好会への参加と友達と楽しく毎日を通すことにつとめています。



「私の趣味」  
熊田ハル代

私がシルバーセンターに入会した際の頃孫と一緒に「すてきな花の作品作り」とのセンターからの案内に、幼い孫二人と参加しました。生花を加工したブリザーブドの花を銘々で鉢に差し作品を作り上げる催しでした。出来上がった作品は家族にも喜ばれ、時を隔った今も尚我が家の

玄関に鎮座して居ます。  
物作りって楽しい、形になって残り思い出もつて来る。私の回りの友人達は多趣味の方がかり、アイデアやレシピをもらい毛糸を編む、廃品を利用して、実用品等が出来上がった時は、ささやかな私の至福の時です。こんな小さな事が趣味と云えるか恥ずかしいですが、これからも仲間と一緒に、おしゃべりをしながら、長く続けられたら！と思いい居る今日今の私です。



「私の趣味は写真」  
平野松文

私は当会員として今年で十八年目を迎えております。その間、歴代の理事長さんをはじめ多くの皆様にお世話になりました。心から感謝申し上げます。表具、表装技能の講習を受講、修了証をいただき、現在襖、障子、網戸貼りの作業に就業致しております。趣味はカメラで写真を撮る

ことです。レンズを通して、見たもの、感じたものを自分なりの感覚でシャッターを切る。初めは手当り次第に撮り、別の日に自分の感覚で選んで行きます。作品を作るとコンクール等にも出したいくなります。時の流れは早いもので、瞬時を切り取った記録が、何ものにも代え難いものとなり、それが自信と、勇気と、希望となり、明日からも頑張ろうと力を与えてくれます。



「園芸愛好」  
会員を募集中  
佐藤吉二

会員の皆様、連日の就業ご苦労様です。

園芸部の年間活動は、会員拡大を重点に取組み、チラシ配布と市内で開催された山野草・さつき展等の会場訪問や、すかがわ産業フェスティバル2017 & JA夢みなみすかがわ岩瀬地区感謝祭などへの参加と須賀川市民温泉に、十月から盆栽展示

## 研修レポート

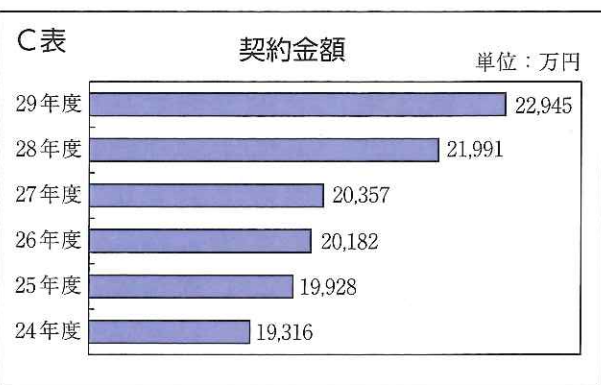
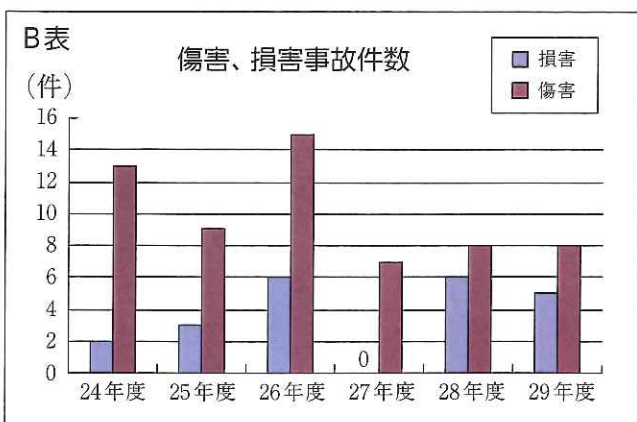
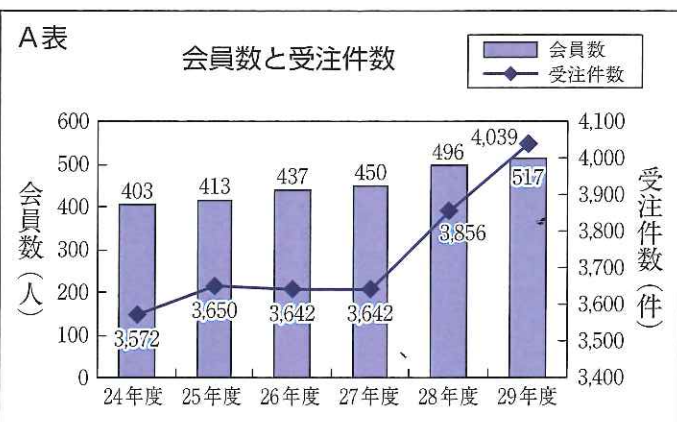
福島県SC連合会主催の  
安全・就業推進大会に参加して

石川義彦

大会は七月二十日白河市白河文化交流館「コミネス」にて県内四十三センターが参加して開催されました。この中で快フィットネス(研)吉井氏の基調講演があり、興味深く拝聴しました。特に老化した筋肉の活性、認知症など(フレイル)の早期発見など高齢者の病気の予防について面白く、楽しく学ぶことができました。日常の笑いの習慣や食物の栄養摂取、簡易なストレッチなど無理せず健康を維持することの大切さを改めて考えさせられました。

## 事業実績報告

年度別会員数・受託件数及び傷害、損害事故件数並びに契約金額は下表ABC  
また、平成29年度派遣事業の契約金額及び就業延日人員は下表Dのとおりです。





# 事務局よりお知らせ

## ▼仲間を増やそう(会員募集)

当センターの今年度の会員は五百五十名を目標にしています。全国シルバー会員も百万人達成(現在七十二万人)の活動を展開しています。高齢者が働いて社会に貢献する時代です。まだまだ働ける元気な方々を紹介して下さい。

## ▼会員紹介

平成二十九年十二月六日から平成三十年七月三十一日までに入会されました正会員及び賛助会員は次のとおりです。

### 正会員(三十九名)

|       |        |
|-------|--------|
| 村越由久  | 吉田 稔   |
| 小松ケイ子 | 松永正一   |
| 池田洋子  | 佐藤文子   |
| 宗像正文  | 本間正城   |
| 安藤ゆみ  | 馬場信一郎  |
| 佐藤 亘  | 渡辺 裕   |
| 山寺勇一  | 佐藤太美   |
| 大沼京子  | 江澤健一   |
| 安齋 晃  | 大槻美奈子  |
| 松川利憲  | 佐久間よね子 |
| 近藤喜次  | 永山幸子   |
| 遠藤健吉  | 大槻光男   |
| 鈴木克孝  | 松井喜美栄  |
| 蕪木政寿  | 鈴木とし子  |
| 大野治夫  | 根本 正   |

|       |       |
|-------|-------|
| 佐々木 稔 | 服部初男  |
| 遠田 一  | 水野栄一  |
| 柴田ノブ  | 安藤俊明  |
| 渡辺益男  | 大久保友子 |
| 蛭田俊男  |       |

### 賛助会員(十二社)

井上鋼材株式会社  
岩通マニフアクチャリング株式会社  
笠原工業株式会社  
株式会社鍛エスアール工業  
株式会社吉城光科学  
有限会社桑名木材  
社会福祉法人三愛福祉会  
佐藤産業株式会社  
株式会社ジエイラップ  
セキショウホンダ株式会社須賀川店  
豊多摩通運株式会社福島事業所  
和田装備株式会社

## ▼安全標語

昨年、安全委員会は会員に安全標語の募集を安全意识高揚の一環として行ないました。投稿された作品の中から優秀作品を紹介いたします。なお、最優秀作品はネームプレートに取り入れました。

### ▼最優秀賞

「あと少し 焦る気持ちに 招く怪我」

柳沼 功

### ▼優良賞

「慣れた仕事に 潜む事故」

湯田千秋

### ▼佳作

「安全は 心の余裕 大切に」

村上朝子

「安全は 目配り 気配り 思いやり」

上石紀夫

「ベテランも 油断をしないと 事故のもと」

小松清子

## ▼健康診断の提出

今年度の健康診断の結果はすみやかに事務所へ提出して下さい。

健康保険に加入している方の健康診断は施設検診(指定されている市内の病院及び医院)で六月二十五日から開始しました。(集団検診は八月から)

市役所から通知のない方は健康づくり課に問い合わせして下さい。

(TEL 八八八二二二) 又、胃がん検診は八月からになります。

『みんなで受けよう健康診断、元気でやれるシルバー会員』

## ▼困りごと相談開設

(毎月十五、三十日)

昨年度からはじめたこの相談について、どんな内容の相談ができるのか紹介いたします。

この相談を受けたい方は誰でも可能です。又、シルバー人材センターに関係ない内容でも出れます。

例えば 一、老齢年金など年金全般に関すること。

二、家裁など、どんな内容が調停できるのか。その他簡易裁や地方裁なども含む。  
三、訴訟など民事裁などの手続方法はどうか。  
四、家庭の困りごとを裁判しないで解決する方法など。  
その他生活上の困りごとなど諸々について出来ます。

## あとかぎ

今回の編集はシルバー会員の皆様がどのような思いで仕事をされているのかを企画してみました。又、紙面の文字を大きくし、写真等を多く載せる事で読み易くしてみました。今後もより充実した誌面作りを目指して参ります。まだまだ残暑が続きます。お体を御自愛の程この夏を乗り切ってください。



編集委員一同

### 発行

公益社団法人

須賀川市シルバー人材センター

〒九六一〇〇二八

須賀川市茶畑町六五

TEL 〇二四八(七六)一九九二

FAX 〇二四八(七六)一九九三